

平成26年度事業報告

羽曳野市社会福祉協議会は、『ご近所づきあい』から始まるささえあいの『和』づくりをすすめましょうという、第2期羽曳野市民福祉活動計画の基本理念に則り、人と人とのつながりを増やし、安心して暮らせる社会の実現をめざして、26年度も、区長や民生・児童委員をはじめとする地域の皆さま、関係団体のご協力ご支援を受け、また行政や府社会福祉協議会、専門機関などと連携しながら、各種の地域福祉・在宅福祉活動などを推進してまいりました。

特に26年度は、いつ起こるかかわからない震災等に備えるため、いろいろな事業に、「防災・減災」という視点を取り入れて事業を推進しました。

地域福祉活動では、校区福祉委員会連絡会事業として、校区福祉委員会の役員を対象に、小地域ネットワーク活動リーダー研修会や災害時要援護者支援リーダー研修会などを開催し、地域リーダーの育成に努めました。

福祉に関係する施設が連携・共同して地域福祉に取り組むために25年度に結成された「地域と福祉をつなぐネットワーク会議（福祉施設連絡会）」では、地域貢献の方策等についての検討を進めるため、他市の取組み状況やボランティアの受け入れについての研修を実施しました。

地域交流事業では、各校区の校区福祉委員会が主体となって実施していただいている「いきいきサロン」「ふれあい食事サービス」「子育てサロン活動」「小地域ネットワーク活動」「雅び」などの活動に参画・支援を行い、地域住民による支えあい助けあいを推進するとともに、地域課題の解決に向けて努力しました。

コミュニティソーシャルワーカー事業では、個別支援活動を行うとともに、地域支援活動では、いつ起こるかかわからない災害に備える「災害時要支援者ネットワーク構築事業」に力を入れ、説明会や研修会には昨年の倍近い560人の皆さまに参加していただきました。災害時要支援者登録台帳への登録者数は、昨年より469人増えて6,309人となっており、今後さらに増加が見込まれています。

「老人会食会事業」は、民生・児童委員やボランティアの皆さまのご協力により実施し、昨年を上回る延べ2,326人の参加がありました。

低所得者層の生活向上や高齢者・身体障がい者の属する在宅福祉の向上を図るため、大阪府が実施する貸付事業の相談・受付業務を行っている「生活福祉資金貸付事業」では、不動産担保型生活資金や教育支援資金の大幅な増加により、昨年の2倍以上の51,646千円の貸付決定額となりました。

「子育て支援・サロン活動事業」は、少子化が進む中、市内14校区でほぼ毎月1回行われている「子育てサロン」に、昨年を上回る6,099人の参加がありました。

「高年生きがいサロン指定管理事業」では、市内4カ所のサロンの運営を行い、昨年同様多くの皆さまにご利用いただきました。

ボランティア活動の促進では、ボランティアセンターの運営、ボランティア保険の加入、需給調整事業等で、昨年とほぼ同等の実績をあげる事が出来ました。

また、社会福祉関係者の育成を図るため、大学の学生14人を実習生として受け入れました。

在宅福祉活動のうち居宅介護支援事業では、昨年を上回る93件の新規相談があり、年度末の利用者数も昨年を上回る129人となりました。

ホームヘルプサービス事業では、年度末の利用者数はほぼ昨年と変わらないものの、制度変更等の影響によりヘルパーの派遣時間数が約1割減少し13,773時間45分となりました。

各種募金活動等の推進では、日本赤十字社の社資募集、共同募金、献血推進事業、東日本大震災支援活動に取り組み、多くの皆さまからご支援をいただく事が出来ました。

当会が運営する「あおぞら保育園」と「ベビーハウス社協」の2カ所の認可保育園では、定員を上回る保育に欠ける子ども達に、安全で安心な保育を実施するとともに、地域の子育て支援の拠点として、育児相談や園庭開放などを実施し、保護者や地域の皆様に信頼され、親しまれる保育園をめざしました。

そして、これら当協議会が実施した事業の貴重な活動財源となる「寄付金」や「地域福祉活動協力金」「組

織構成会員会費」に、多くの皆さまからあたたかいご協力をいただき、円滑な組織運営と基盤の強化を図る事が出来ました。

また、「社協だより」やホームページ、市の「広報はびきの」などの媒体により、当会の事業計画や報告、予算や決算の状況、活動の内容などの周知を図りました。

以上のとおり各種事業を推進しました結果、在宅福祉活動や保育園事業などの自主事業も含め、健全な運営を遂行する事ができました。

事業ごとの取組み内容は以下のとおりです。

平成 26 年度 事業 報告

■ 役員会議

・理事会

開催年月日	開催場所	審議事項	出席者数
平成26年5月9日	別館3階会議室	1. 平成25年度事業報告について 2. 平成25年度決算について	16人
平成27年3月3日	別館2階研修室	1. 会長の専決処分の報告について 2. 平成26年度第1次補正予算(案)について 3. 定款の一部改正(案)について 4. 経理規程の全部改正(案)について 5. 平成27年度事業計画・予算について 6. 評議員の同意について	14人

・評議員会

開催年月日	開催場所	審議事項	出席者数
平成26年5月9日	別館3階会議室	1. 平成25年度事業報告について 2. 平成25年度決算について	29人
平成27年3月3日	別館2階研修室	1. 会長の専決処分の報告について 2. 平成26年度第1次補正予算(案)について 3. 定款の一部改正(案)について 4. 経理規程の全部改正(案)について 5. 平成27年度事業計画・予算について 6. 理事の同意について	28人

・監査

開催年月日	開催場所	審議事項	出席者数
平成26年4月23日	別館3階特別会議室	1. 平成25年度会計監査	2人

■ 組織強化

自主財源確保の福祉基金の積み上げと地域福祉活動協力金の拡大を図りました。

・福祉基金（平成27年3月31日現在）

平成26年度 1,984,765円 累計 123,628,433円

・地域福祉活動協力金

地域福祉活動やボランティア活動の推進など市民参加・参画の中で福祉サービスを充実させるためにご協力をお願いしました。

ご協力いただいた額の半額は、各校区福祉委員会の活動資金として配分させていただきました。

5,226,021円

・組織構成会員会費

より広く住民に開かれた組織としての基盤を整えるために市内の団体などを対象にご協力をお願いしました。

233,000円

■ 社会福祉啓発活動

・機関紙の発行等

名 称	発行回数	発 行 月 等	備 考
社協だより	年4回発行	5月・8月・10月・1月	市内全戸配布
ボランティア情報はびきの	年12回発行	毎月	ボランティア情報コーナー ボランティア登録者配布
ボランティアだより	年4回発行	6月・9月・12月・3月	関係機関配布
市広報はびきの	年12回発行	毎月	市内全戸配布
ホームページ	———	毎月更新 http://www.hasyakyo.net/	
介護保険事業連だより	年6回発行	不定期	加盟事業所配布 ・ケアマネ部会 ・在宅部会 ・施設部会 ・地域密着部会

■ 地域福祉活動

・校区福祉委員会連絡会事業の実施

校区福祉委員会の役員に、小地域ネットワーク活動についての研修会を実施、校区福祉委員の指導・育成に努めました。

開催日	内 容	場 所
平成26年 7月31日 平成26年12月 4日	校区福祉委員会連絡会	別館2階研修室
平成26年 9月13日	全国校区小地域福祉活動サミット at 関西学院大学	関西学院大学
平成27年 2月13日	小地域ネットワーク活動リーダー研修会	国際交流センター
平成27年 2月16日	災害時要援護者支援リーダー研修会	別館2階研修室
平成27年 3月20日	サロン交流会	別館2階研修室

・校区担当による福祉委員会支援

各小学校区に校区担当職員を配置し、福祉委員会の実施事業や会議等へ参加しました。

地域の課題やニーズに応じた、事務的支援や相談を随時行い、福祉委員会活動における地域福祉推進に繋がりました。

・地域と福祉サービスをつなぐネットワーク会議（福祉施設連絡会）

平成25年12月に結成した福祉施設連絡会において、研修会を開催し今後の取組みについて話し合うとともに、それぞれ社会福祉法人間での情報交換・交流を深めました。

開催年月日	開催場所	研修内容	参加法人数
平成26年11月5日	保健センター	1. 柏原市における連絡会の成り立ちや取組みについて (柏原市民間社会福祉施設連絡会会長：伊山氏) 2. 交流会	15法人
平成27年2月23日	別館2階研修室	1. 施設ボランティアコーディネーターやボランティアセンターの役割について(大阪府社会福祉協議会 地域福祉部 副部長 難波氏) 2. 社会情勢や地域から見たボランティアの必要性・受入れ状況について(介護老人保健施設悠々亭 地域連携課課長 嶋田氏) 3. 施設ボランティアの受け入れの仕組みやプログラム作りについて(四天王寺悲田院ケアプランセンター 大野氏) 4. グループワーク	22法人

・地域交流事業

校区福祉委員会が、地域特性を活かしたふれあいの事業を実施することにより、地域内の交流を深めることができ、地域福祉の増進に寄与しました。

(単位：箇所)

校区名	各事業の実施箇所数					小地域ネットワーク※2	雅び※3
	いきいきサロン (喫茶サロン含む)	ふれあい食事サービス	地域ハビリ事業	世代間交流	子育て支援(サロン)活動※1		
1 古市	5	5	0	1	1	H11	H15
2 高鷲北	0	2	0	2	1	H11	H14
3 埴生	6	3	0	1	1	H13	H16
4 埴生南	5	6	0	1	1	H12	H16
5 羽曳が丘	1	1	1	2	1	H10	H14
6 丹比	0	1	0	1	1	H11	H16
7 駒ヶ谷	0	5	0	1	1	H14	H17
8 古市南	6	2	0	1	1	H14	H15
9 西浦	2	7	0	1	1	H13	H18
10 西浦東	1	7	0	1	1	H12	H24
11 恵我之荘	2	5	0	1	1	H12	H14
12 白鳥	4	4	0	1	1	H12	H15
13 高鷲	1	9	0	1	1	H10	H14
14 高鷲南	7	7	0	0	1	H10	H14
合計	40	64	1	15	14		

※1 古市・高鷲南校区の子育て支援（サロン）活動については民協が実施

※2 小学校区を単位として高齢者や障がい者（児）、子育て中の親子などが地域で孤立することなく安心して生活できるよう、地域住民の参加と協力による支え合い、助け合いを推進する活動

※3 小地域ネットワーク活動と専門職種・行政が協働し、高齢者等を地域で支えあい関係機関とのネットワークを構築し小地域ネットワーク活動の一層の発展、地域支援体制の拡充、セーフティーネットの確立を目指す活動

・福祉教育の推進

小・中学校及び高等学校の児童・生徒を対象に、ボランティア活動の実践を通じて社会福祉への理解と関心を高めることを目標とし、社会奉仕・社会連帯の精神を養うとともに、家庭及び地域社会の社会福祉活動に対する啓発を図りました。

・コミュニティソーシャルワーカー事業

地域にお住まいの個人、家族から相談を受ける個別支援活動と、集団、組織を支援する地域支援活動という2本を柱に活動しています。個別支援活動から見えてきた課題を地域支援活動にいかし、また地域支援活動が個別支援活動にいかされるような循環システムを目指し取り組んでいます。

① 地域支援活動

	東 部	西 部	合 計
<u>第2期羽曳野市地域福祉計画の推進</u> 第2期地域福祉計画推進委員会、ふれあいネット雅び運営会議、 市CSW連絡会等	16回	16回	32回
<u>住民懇談会の開催</u> 子育てサロン、会食会、ふれあいネット雅び地域福祉推進チーム会議	50回	55回	105回
<u>住民活動のコーディネート</u> はびきの市民活動フェスタ、市民活動交流会 はびきの市民活動フェスタ実行委員会、NPO、ボランティア団体交流会	30回	2回	32回
<u>要援護者の組織化支援</u> 介護者家族の会の取り組み支援	5回	3回	8回
<u>地域住民などを対象とする研修会の開催</u> ふれあいネット雅び地域福祉推進チーム勉強会 認知症サポーター養成講座等	10回	7回	17回
<u>災害時要援護者支援ネットワーク構築事業</u> 羽曳野市災害時要援護者支援プラン説明会の実施 災害時要援護者を支える地域づくり	390人	170人	560人
<u>ふれあい拠点づくり</u> ふれあい喫茶「あいあい」、巡回型ふれあい喫茶「すずらん」 西浦ほっとサロンカフェさんさん、喫茶ひだまり ふるなん高齢者パソコン教室、ふるなん喫茶「絆」	4か所	10か所	14か所

平成26年度は災害時要援護者支援ネットワーク構築事業に力を入れました。

② 個別支援活動

(単位:件)

相談内容別	東 部		西 部		合 計	
	件数	延べ件数	件数	延べ件数	件数	延べ件数
福祉制度・サービスに関する相談	132	240	48	55	180	295
生活に関する身近な相談	32	60	14	29	46	89
健康・医療に関する相談	8	70	15	27	23	97
生活費に関する相談	25	130	30	35	55	165
就労に関する相談	1	1	5	5	6	6
財産管理・権利擁護に関する相談	26	320	3	3	29	310
DV・虐待に関する相談	6	32	2	6	8	13
地域福祉、ボランティアに関する相談	65	120	13	17	78	167
災害時要援護者に関する相談	44	45	18	18	62	115
その他	0	0	31	38	31	38
合 計	339	1,018	179	233	518	1,295

(単位：件)

相談対象者別	東 部		西 部		合 計	
	件数	延べ件数	件数	延べ件数	件数	延べ件数
高齢者	110	156	32	56	142	212
(うち)一人暮らし高齢者	(84)	(100)	(18)	(40)	(102)	(140)
(うち)高齢者のみの世帯	(20)	(40)	(7)	(8)	(27)	(48)
(うち)その他の高齢者	(6)	(16)	(7)	(8)	(13)	(24)
障がい者 ※1	21	224	14	43	35	267
(うち)身体障がい者	(4)	(4)	(4)	(15)	8	(19)
(うち)知的障がい者	(3)	(70)	(1)	(1)	4	(71)
(うち)精神障がい者	(14)	(150)	(9)	(27)	23	(177)
子育て中の親子	14	20	4	6	18	26
一人親家庭の親子	2	2	7	13	9	15
青少年	1	2	3	4	4	6
その他(一般男性)	8	20	17	38	25	58
その他(一般女性)	6	15	20	41	26	56
その他(民生・児童委員)	65	150	14	16	79	166
その他(ボランティア)	10	30	4	4	14	34
合 計	237	619	115	221	352	840

※1 障がい者においては、重複障害の方を「1」と数えています

・福祉サービス利用援助事業(日常生活自立支援事業)

大阪府社会福祉協議会・大阪後見支援センターからの委託事業で、対象者は認知症や知的障がい、精神障がいなどで判断能力が不十分な方である。平成26年度は、増加している利用者へのサービスの質の向上を大きな目標としてきました。

相談者	一般相談 件 数	サービス提供の ための訪問回数	新規契約 件 数	解約件数	年 度 末 実利用者数
認知症高齢者	96件	229回	3件	2件	10人
知的障がい者	104件	287回	1件	0件	12人
精神障がい者	159件	363回	2件	1件	13人
その他	5件	0回	0件	0件	0人
合計	364件	879回	6件	3件	35人

専門員・支援員参加の研修会等

大阪後見支援センター主催の各種会議・研修会に参加

・心配ごと相談事業

地域内の心配ごとや悩みごとに対処するため、民生委員の協力により心配ごと相談事業を、東部地区・西部地区それぞれほぼ毎月2回実施し、地域福祉の向上に寄与しました。

(取扱件数) ・相談員 延135人

・相談件数 10件 (内 東部地区相談件数 7件 ・ 内西部地区 相談件数 3件)

(単位: 件)

相談事項	東 部	西 部	相談事項	東 部	西 部
生 計	0	0	財 産	1	0
年 金	0	0	事 故	0	0
職業・生業	1	0	児童福祉・母子保健	0	0
住 宅	4	0	教育・青少年	0	0
家 族	2	0	障がい者(児)福祉	0	0
結 婚	0	0	母子福祉・父子福祉	0	0
離 婚	0	0	老人福祉	0	0
健康・保健・衛生	0	1	苦 情	1	0
医 療	0	0	そ の 他	1	1
人権・法律	1	1	合 計	9	3

※一度に複数の相談事項がある場合があるため、相談事項件数の合計と相談件数は一致しません。

・老人会食会事業

小学校区ごとに、校区内のひとり暮らしの高齢者を対象に年3回給食ボランティアの会食サービス「あじわい」と民生委員の協力により会食会を実施。地域との交流を深めるとともに健康増進に寄与しました。

【参加人数】

(単位: 人)

校 区	第1期	第2期	第3期	計
古 市	65	66	63	194
古市南	83	91	90	264
白 鳥	46	44	56	146
高 鷲	46	44	48	138
高鷲北	33	33	33	99
高鷲南	25	31	25	81
恵我之荘	49	43	46	138
埴 生	89	101	92	282
埴生南	62	59	87	208
羽曳が丘	86	75	74	235
西浦東	23	27	32	82
丹 比	50	51	51	152
駒ヶ谷	51	51	51	153
西 浦	51	52	51	154
合 計	759	768	799	2,326

計42回開催 延べ参加人数2,326人

※駒ヶ谷校区、西浦校区は配食

・生活福祉資金及び小口生活資金の貸付事業

低所得階層の生活の向上ならびに高齢者・身体障がい者の属する世帯の在宅福祉の向上を図るため生活福祉資金貸付事業及び小口生活資金貸付事業を実施し、自立更生に寄与しました。

【貸付状況】

区 分	電話相談	窓口相談	貸付決定件数	貸付決定額 (単位：千円)
福祉資金	6件	41件	11件	2,465
教育支援資金	20件	56件	32件	24,725
総合支援資金	3件	15件	6件	3,121
不動産担保型生活資金	5件	10件	3件	21,035
小口生活資金	5件	18件	3件	300
臨時特例つなぎ資金	0件	0件	0件	0
合 計	39件	140件	55件	51,646

・災害時要援護者支援ネットワーク構築事業

災害の際に何らかの理由で逃げ遅れる危険性が高い方が、制度へ登録申込みをして、町会や校区福祉委員会など支援してくれる団体にあらかじめ状況を把握しておいてもらうことで、災害時の被害を少しでも少なくしようというものです。また、この制度に登録された方は、そのまま「あんしんシステム」に登録されることとなります。

従来の「あんしんシステム」の枠をひろげ、地域の見守り、支えあいの輪がいつそう広がります。

災害時要援護者

- ①身体障がい者手帳（1級、2級）の交付を受けている方、視覚障害の方聴覚障害の方
- ②療育手帳（療育A）の交付を受けている方
- ③精神障がい者保健福祉手帳（1級）の交付を受けている方
- ④障がい者手帳をお持ちで一人暮らしの方
- ⑤要介護度3以上の方
- ⑥65歳以上のお一人暮らし、75才以上のみの世帯
- ⑦昼間のみ⑥の状態になる方
- ⑧特定疾患、小児慢性特定疾患医療助成認定を受けている難病患者の方
- ⑨その他災害時の避難に支援が必要な方

校区ごとの対象人数（平成27年3月末現在）

古 市	高鷲北	埴 生	埴生南	羽曳が丘	丹 比	駒ヶ谷	古市南
664人	243人	716人	549人	719人	475人	140人	550人

西 浦	西浦東	恵我之荘	白 鳥	高 鷲	高鷲南	合 計
360人	175人	410人	264人	484人	560人	6,309人

・子育て支援・サロン活動事業

校区福祉委員会による小地域ネットワーク活動が展開され、民生委員を中心に地域での子育て支援として「子育てサロン」活動が行われました。

校区ごとの参加人数

たかなん	ふるいち	はになん	はにふ	たかわし	たかきた	えがのしょう	いしかわ
562人	682人	537人	511人	391人	488人	664人	182人

はくちょう	ふるなん	はびきがおか	にしうら	たんぴ	こまがたに	合計
294人	275人	846人	263人	292人	112人	6,099人

■高年生きがいサロン指定管理事業

介護予防を目的に、高齢者が自宅に閉じこもることなく地域の他の高齢者の方々とともにリハビリや趣味活動などの交流を通じて生き生きと健康に過ごせるよう促進を図りました。

利用人数

(単位:人(延))

区分	入浴	カラオケ	囲碁・将棋	バンパー	筋トレ (フォロー)	介護予防	団体利用	卓球	合計
2号館	2,065	0	139	16	873	3,108	2,428	0	8,629
3号館	3,292	0	0	0	0	1,573	2,915	0	7,780
5号館	2,327	3,008	102	2,571	1,706	655	2,128	2,042	14,539
6号館	2,420	3,293	1,950	499	4,115	3,228	5,811	626	21,942
合計	10,104	6,301	2,191	3,086	6,694	8,564	13,282	2,668	52,890

■ ボランティア活動の促進

・ボランティア活動の振興

・ボランティアセンターの運営

ボランティアグループの活動活性化を図るため、ボランティアセンターの効率的な管理・運営に努めました。

ボランティアセンター利用日数 260日

・ボランティア保険の加入

安心してボランティア活動できるようボランティア保険への加入促進し、ボランティア活動の振興に努めました。

	活動保険	行事保険	非営利・有償	移送保険	合計
団体数	159件	161件	3件	1件	324件
人数	1,540人	18,214人	12人	8人	19,774人

・需給調整事業

ボランティア活動に対する需要と供給のバランスを調整し、ボランティア活動の裾野を広げ市民のボランティア活動に対する認識と理解を深めることに努めました。

個人	団体	福祉施設	行政機関	その他	合計
101件	74件	101件	49件	7件	332件

・ボランティア育成事業内容

地域住民のボランティアに対する意識を高め、地域福祉への参画を促しました。

講座名	日程
ボランティア体験プログラム	7月1日～9月30日
内容	子どもから社会人、高齢者などボランティア活動への参加の機会と場の提供を目的として福祉施設や校区福祉委員会などへ呼びかけをし開催
傾聴ボランティア養成講座	6月3日、19日・9月2日、11日
内容	施設や在宅の高齢者の方にゆっくり寄り添ってお話を聴き気持ちを受け止めるボランティアを養成するため開催、フォローアップとして車いす体験を8月4日に講座を開催
小学生ボランティアスクール	8月7日・8日
内容	小学生一人ひとりがボランティア体験を通じて、人を思いやる気持ちの大切さ「福祉の心」を育て、ボランティア活動のきっかけを提供することを目的に開催
いきいき・わくわく講座 5月 絵手紙ボランティア養成講座	5月8日、15日、22日
内容	絵手紙を通してお年寄りを対象とするボランティア活動参加へのきっかけを提供する
いきいき・わくわく講座 7月 リサイクルボランティア養成講座	7月3日、10日、15日
内容	簡単なリサイクル体験を通じて、リサイクルに関わる市民公益活動に参加するきっかけづくりをおこなう。
いきいき・わくわく講座 9月 まちづくりボランティア養成講座	9月12日、19日、26日
内容	なぜ世界文化遺産を目指すのか、世界文化遺産のあるのに相応しい「まち」とはどんなまちなのか、ウォーキングを通じて羽曳野市を知りながら、羽曳野市の歴史に触れ、福祉としてのまちづくりに参加するきっかけを提供する。
いきいき・わくわく講座 11月 歌声ボランティア養成講座	11月14日、21日、28日
内容	歌うことを通じて高齢者の孤立化や引きこもりを防ぐことを目的とする歌声ボランティアの活動を知ってもらい、高齢者を対象としたボランティア活動に参加するきっかけを作る。

いきいき・わくわく講座 12月 傾聴ボランティア養成講座	12月8日、18日、22日
内容 傾聴とは何かを知ってもらうことを通してボランティアの基礎知識を学んでもらうとともに、傾聴の現場を体験することでボランティアにかかわるきっかけづくりを提供する。	
いきいき・わくわく講座 2月 ITボランティア養成講座	2月14日、21日、28日
内容 PCの操作方法の指導といったITボランティアの活動を通して、ボランティアに参加するきっかけを提供する。	

・ボランティア連絡会の育成・援助

ボランティア連絡会との連携を強化しながら、地域住民又、若年層からのボランティアに関する理解と関心を高めるため、組織的なボランティア活動の振興に努めました。

1	ボランティア連絡会総会	平成26年5月29日/別館3階会議室
2	定例幹事会	毎月第2水曜日
3	はびきのボランティアだより発行	6月・9月・12月・3月
4	その他主な活動 大阪府社協ボランティア連絡会総会 エコイベント 市民体育祭 河南ブロック交流会 市民活動フェスタ2015 障がい者団体行事・高齢者施設行事 保健センター各種教室 福祉教育	平成26年 5月12日/府社協福祉センター 平成26年 7月26日・27日/LICはびきの 平成26年 6月8日/石川グラウンド 平成26年 10月10日/サポートやおVC 平成27年 3月8日/エコプラザはこふ 随時 随時 随時

■実習生受入

社会福祉士国家試験受験資格の取得対象等の実習生の受入を行い、様々な社会福祉活動の実習を通じ、社会福祉関係者の人材育成を図りました。

・看護学部生活支援実習

大学名	人数	実習期間	実習時間
大阪府立大学	4人	平成27年 2月23日～3月6日	5日間
大阪府立大学	5人	平成25年10月15日～10月25日	5日間

・社会福祉援助技術実習

大学名	人数	実習期間	実習時間
四天王寺大学	2人	平成26年 6月2日～ 7月4日	180時間 23日以上
四天王寺大学	2人	平成26年11月10日～11月16日	5日間

・介護福祉士介護実習

大学名	人数	実習期間	実習時間
関西女子短期大学	1人	平成27年 3月2日～ 3月13日	10日間

■ 在宅福祉活動

・居宅介護支援事業

要介護者等からの相談に応じ、居宅サービス又は施設サービスを適切に利用できるよう、サービスの種類、内容等の計画を作成するとともに、サービスの提供が確保されるようサービス事業者、介護保健施設との連絡調整等を行いました。

・新規相談件数・・・93件

・要介護認定利用者 [年度末現在の居宅介護支援者数]

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
利用者数	21人	34人	29人	14人	5人	103人
内26年度新規	19人	16人	3人	6人	2人	46人

・要支援認定利用者 [年度末現在の居宅介護支援者数]

	要支援1	要支援2	計
利用者数	12人	14人	26人
内26年度新規	5人	7人	12人

・羽曳野市要介護認定訪問調査委託事業

羽曳野市より依頼を受け、要介護認定の訪問調査を行いました。

(調査件数) 74件

(生活保護法介護扶助) 20件

・ホームヘルプサービス事業

高齢または身体上の障がいのため、日常生活を営むのに支障がある高齢者世帯、または身体障がい者世帯に対してホームヘルパーを派遣し、在宅福祉の向上に努めました。

介護度別利用状況 (年度末現在利用者数) 東部

	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	障がい者世帯	計
利用者数	19人	6人	13人	4人	5人	3人	8人	58人
内26年度新規	9人	3人	6人	1人	3人	0人	2人	24人

内容別年間派遣時間数 東部

(単位：時間)

	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	介護合計	障がい	総合計
生活援助	1,485:15	685:00	1,027:45	299:30	240:00	8:00	3,745:30	432:45	4,178:15
身体介護		127:15	257:00	190:15	255:30	282:15	1,112:15	965:00	2,077:15
身体生活		202:00	116:45	503:15	444:45	0:00	1,266:45		1,266:45
通院・身体								170:30	170:30
合計	1,485:15	1,014:15	1,401:30	993:00	940:15	290:15	6,124:30	1,568:15	7,692:45

介護度別利用状況（年度末現在利用者数） 西部

	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	障がい者世帯	計
利用者数	13人	6人	8人	5人	5人	4人	8人	49人
内26年度新規	4人	6人	1人	1人	1人	2人	5人	20人

内容別年間派遣時間数 西部

(単位：時間)

	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	介護合計	障がい	総合計
生活援助	1,141:00	284:15	1,149:15	137:15	16:45	9:45	2,738:15	100:00	2,838:15
身体介護		63:45	122:30	88:30	339:30	75:00	689:15	596:45	1,286:00
身体生活		229:15	578:00	685:15	78:00	386:15	1,956:45		1,956:45
通院・身体								0:00	0:00
合計	1,141:00	577:15	1,849:45	911:00	434:15	471:00	5,384:15	696:45	6,081:00

・福祉有償運送事業（移送サービス事業）

家庭において移送が困難な要介護高齢者及び重度身体障がい者に対して、ボランティアのみなさんのご協力を得ながらリフト付自動車を利用して移送サービスを実施しました。

【実施状況】利用登録者数76人 協力ボランティア11人

月別利用状況

利用月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
出動回数	11回	10回	11回	12回	10回	10回	13回	10回	9回	11回	10回	9回	126回

・福祉（介護）機器の貸出・斡旋

介護家族の負担軽減を図るため車イスの貸出を実施するとともに、各種介護用品の斡旋を実施しました。

【車イスの貸出】

月別利用状況

利用月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
貸出件数	38件	31件	18件	17件	18件	29件	28件	28件	25件	13件	16件	10件	271件

【斡旋】

紙オムツ・防水シート・失禁パンツ・肌着（寝巻）・ポータブル便器等介護者のニーズの高い介護用品について、随時斡旋を実施しました。

■介護者家族の会の育成と援助

介護者家族の会との連携強化を図るため、定例の役員会に担当者が参加するなど関係を密にし、積極的に育成・援助を図りました。

日時	事業内容	場所	参加者
4月8日(火)	役員会	別館2階研修室	5人
4月18日(火)	研修会【バリアフリー展2014見学】	インテックス大阪	19人
5月15日(木)	総会	別館2階研修室	30人
5月27日(火)	介護者のつどい【交流会】	西部事務所	11人
7月1日(火)	介護者のつどい【手づくりボランティア 交流会】	別館2階研修室	23人
7月24日(木)	役員会	別館2階研修室	5人
7月25日(金)	介護者のつどい【小規模多機能型居宅事業所 交流会】	西部事務所	12人
8月28日(木)	他市家族会事業視察	東住吉区	3人
9月12日(金)	役員会	別館2階研修室	5人
9月30日(火)	研修会【介護者のためのメンタルケア】	別館2階研修室	49人
10月27日(月)	介護者のつどい【居宅ケアマネージャー 交流会】	保健センター	12人
11月7日(金)	役員会	別館2階研修室	5人
11月15日(土)	「いきいき介護フォーラム」啓発活動	LICはびきの	5人
11月18日(火)	リフレッシュバスツアー【長谷寺・若草山】	奈良県	30人
1月13日(火)	役員会	別館2階研修室	5人
1月24日(土)	研修会【認知症介護との向き合い方】	A棟中東会議室	32人
2月24日(火)	介護者のつどい【手づくりボランティア 交流会】	別館2階研修室	19人
3月10日(火)	役員会	別館2階研修室	9人
3月27日(金)	介護者のつどい【地域包括支援センター 交流会】	西部事務所	16人

(その他) ・大阪府介護者(家族)の会連絡会総会 6月24日(火)
 ・河南ブロック介護者(家族)の会交流会 2月27日(金)
 ・大阪府介護者(家族)の会連絡会全体活動交流会 3月12日(木)

■各種募金活動等の推進

・日本赤十字社事業

日本赤十字社では、博愛と奉仕の精神に基づき自然災害・紛争・発展途上国の開発協力等の国際活動や福祉活動をはじめ、災害救護・救急医療体制の整備・献血運動などの国内活動等を行っていますがこの事業を支える資金である社資募集に積極的に取り組みました。

【社資募集実績】

地区名	実績額	地区名	実績額
古市地区	719,750円	丹比地区	315,150円
高鷲地区	1,556,858円	日赤奉仕団扱い	476,760円
埴生地区	576,330円	事務局扱い	23,533円
羽曳が丘地区	914,000円	大阪支部扱い	1,387,979円
駒ヶ谷地区	321,500円		
西浦地区	1,265,253円	合計	7,557,113円

- 【事業】・羽曳野市奉仕団研修 平成26年4月21日（別館3階会議室）
 ・羽曳が丘地区奉仕団研修 平成26年6月12日（モモプラザ）
 ・恵我之荘地区奉仕団研修 平成26年9月5日（恵我之荘集会所）
 ・丹比河原城地区奉仕団研修 平成27年3月28日（河原城公民館）

・共同募金運動事業

共同募金運動を通じて市民の全てが福祉に参加し、社会福祉についての市民の理解と認識を深める「福祉のこころ」を培うとともに、社会福祉事業に必要な財源を確保するため共同募金運動に取り組みました。

【街頭募金活動】：平成26年10月1日／午前7時から近鉄各駅・スーパー前で実施

【共同募金実績額】

戸別(町会等)	法人	学校	街頭	バッジ	実績額
3,346,521円	132,124円	182,651円	189,932円	575,500円	4,426,728円

(町会別実績額)

地区名	実績額	地区名	実績額
古市地区	566,550円	丹比地区	167,450円
高鷲地区	1,046,232円	西浦地区	370,700円
埴生地区	522,550円	駒ヶ谷地区	135,350円
羽曳が丘地区	489,175円	事務局取扱い	20,013円
合計			3,318,020円

※地区募金会理事会 平成26年8月29日（市長会議室）

【歳末たすけあい運動募金実績額】

(町会別実績額)

地区名	実績額	地区名	実績額
古市地区	482,850円	丹比地区	218,410円
高鷲地区	735,178円	西浦地区	275,600円
埴生地区	694,400円	駒ヶ谷地区	116,900円
羽曳が丘地区	369,025円	事務局取扱分	120,952円
合 計			3,013,315円

(民生委員校区别実績額)

校区名	実績額	校区名	実績額
古市校区	688,300円	高鷲南校区	146,000円
古市南校区	84,500円	高鷲校区	295,290円
白鳥校区	351,000円	駒ヶ谷校区	106,000円
埴生南校区	113,650円	高鷲北校区	269,500円
埴生校区	135,000円	丹比校区	347,000円
西浦校区	208,500円	恵我之荘校区	351,500円
西浦東校区	138,000円	主任児童委員	43,000円
羽曳が丘校区	24,000円		
合 計			3,301,240円

※ 配分委員会 平成26年12月5日 (保健センター4階 大会議室)

・献血推進事業

献血思想の普及並びにその推進を図ることを目的として、献血推進事業に取り組みました。

・献血推進協議会の運営

献血推進協議会委員及び献血推進員と連携を図り事業の活性化に努めました。

献血推進協議会委員及び献血推進員合同会議 : 平成26年4月21日 (別館3階会議室)

・啓発活動

市広報紙・社協だよりに献血日程を掲載し、献血実績の向上を図りました。

街頭啓発活動を実施し、献血思想の普及・向上を図りました。

愛の血液助け合い運動及び大阪府献血推進月間では、庁内等において献血キャンペーン用のポケットティッシュを配付しました。

【献血実績】

受付人数	採血合計	200ml 採血	400ml 採血
1,760人	1,437人	45人	1,392人

・東日本大震災支援活動

・義援金の受付

平成23年3月14日から受付窓口を開設。同時に義援金箱20個を市内公共施設に設置しました。

平成27年3月末現在 44,212,426円

(社協受付分 全額 日本赤十字社大阪府支部に送金)

■ 保育園の運営

あおぞら保育園

月別園児数

(単位:人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
園児数	141	141	146	147	150	154	154	154	154	153	156	158	1808

※認可定員:120人

保育内容

入園式・家庭訪問(新入園児)・検便、蛭虫検査(年1回)・検尿検査(年2回)
 嘱託医による健康診断(年2回) 歯科検診(年1回)・保育参観(年2回)・園外保育(年8回)
 クラス懇談会(年2回)・個人懇談・七夕まつり・お泊り保育・運動会・クリーン活動・保幼交流
 法人2園交流・芋掘り・味覚狩り・作品展・消防訓練・相撲大会・交通安全講習会・餅つき大会
 雪山遊び・節分・生活発表会・古市小学校体験入学・お別れバス遠足・お別れ会・卒園式・食育
 クッキング・ランチルーム・身体測定・避難訓練・お誕生日会(毎月1回)

延長保育

【朝の延長:7時~7時半】

(単位:人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
園児数	25	25	34	30	41	51	50	27	26	23	23	30	385

【夕方の延長:18時半~19時】

(単位:人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
園児数	61	82	85	70	48	57	59	47	65	67	72	106	819

特別教室の実施

- ・ECC 英会話教室
- ・体育指導
- ※ 3歳児より導入

子育て支援事業

- ・育児相談（開園中常時）
- ・園庭開放（年10回）
- ・子育て支援自主事業
（年令別に5ヶ月間地域の親子と保育士が交流の場を持ち子育て支援を行う）
- ・子育てサロン参加（年7回）

地域交流

- ・世代間交流（地域の高齢者を招いて給食会を行う）
- ・夕涼み会（園児、卒園児、地域住民と交流）
- ・敬老の日の集い（園児のおじいちゃんおばあちゃんと地域の高齢者を招待）
- ・在宅複合施設ステップ訪問（施設の利用者と交流） 6月 2月
- ・クリスマス会（地域の親子参加）
- ・新年子どもの会（地域の親子参加）
- ・ひな祭り（地域の親子参加）
- ・南大阪ブロック民間保育園大運動会参加（南大阪民間保育園と交流）
- ・南大阪ブロック民間保育園サッカー大会参加（南大阪民間保育園と交流）
- ・園児の祖父農園（いちご狩り、とうもろこし収穫、芋掘り）
- ・古市幼稚園・誉田保育園交流 6月 1月 計2回
- ・誉田中学校職業体験受け入れ 2日間 6人
- ・峰塚中学校職業体験受け入れ 2日間 6人
- ・高鷲南中学校職業体験受け入れ 2日間 3人
- ・河原城中学校職業体験受け入れ 2日間 3人
- ・高鷲中学校職業体験受け入れ 2日間 3名
- ・懐風館高等学校職業体験受け入れ 1日間 4人
- ・他施設実習生 5月 1人
- ・教育実習生受け入れ 5月 1人 6月 3人 8月 2人 9月 2人 10月 1人
2月 2人 計10人
- ・ボランティア体験学習の受け入れ 8月 1人

職員研修

園長・事務員研修

- ・保育新制度セミナー 6/11
- ・新会計研修会 11/7
- ・保育園における地域貢献事業 12/8
- ・ほのぼのの財務会計研修 12/16

保育士研修

- ・子ども子育て新制度 8人 (5/1)
- ・障害のある子と共に育つ 1人(5/5, 6/30, 7/31)
- ・感染症食中毒予防対策講習会 1人(6/4)
- ・子育て支援 1人 (6/17, 7/8, 8/8, 9/3, 10/27)

- ・市民セミナーブロック研修 各1人(6/6, 7/14)
- ・救命講習会 12人(6/13)
- ・スマイルサポーターフォロー研修 1人(7/22)
- ・リスクマネジメント 1人(9/5)
- ・家庭支援 2人(8/26)
- ・支援センター施設対象説明会 2人(11/13)
- ・子どもの目線に立った保育 1人(11/25, 12/15)
- ・感染症予防 1人(11/18)
- ・よい子ネット 1人(12/11)
- ・子育て支援・保護者連携 1人(1/8, 1/16)
- ・主任保育士研修会 1人(1/21, 22, 23)
- ・子どもの虐待防止 1人(1/22, 2/13)
- ・リスクを感じる力と記録の書き方 1人(2/4)
- ・社会福祉サービス苦情解決 1人(2/4)
- ・事故予防研修会 1人(2/5, 6)
- ・保育の質の向上をめざす保育計画 1人(2/23)
- ・保幼小連携研修 2人(2/23)
- ・子育て支援講座 1人(2/24)
- ・新任研修 各1人(3/17, 18, 27)

ベビーハウス社協

月別園児数

(単位:人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
園児数	100	104	110	110	110	110	109	108	109	109	109	108	1,296

※認可定員: 90人

保育内容

入園・進級式、個人懇談(年2回)、クラス懇談、参観(年2回)、幼児遠足(春・秋)、乳児お散歩遠足、こいのぼり見学(年長児)、お泊まり保育、便・尿・ぎょう虫検査、内科検診(年2回)、歯科検診、七夕まつり、プール開き、消防消火訓練消防車見学、運動会、クリスマス会、大そうじ、クッキー作り、節分、ひなまつり、ゆめっこの会、お別れ遠足、卒園式、さくらんぼ狩り(幼児)、いちご狩り(4, 5歳)、じゃがいも掘り(幼児)、さつまいも掘り(幼児)、ミックス給食(幼児)、法人2園交流(年長児年2回)

毎月1回お誕生日会、避難訓練、身体測定

延長保育

【朝の延長：7時～7時半】

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
園児数	66	64	99	114	91	95	120	95	102	74	85	93	1,098人

【夕方の延長：18時半～19時】

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
園児数	83	71	83	89	84	97	90	70	76	71	89	91	994人

緊急一時保育

7時～22時(日・祝日は9時～17時)

月別園児数

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
羽曳野市内の園児数	330	318	315	286	300	333	353	314	399	360	363	414	4,085人
他市町村の園児数	12	19	21	19	32	24	59	33	30	19	33	30	331人

家庭支援推進保育所事業(育児相談・家庭訪問)

配慮を要する入所児童への家庭訪問、育児相談・・・11件

在宅子育て家庭への家庭訪問、育児相談・・・64件

出前保育・出前育児相談・・・25件

子育て支援事業

- ・園庭開放(ベビっこひろば)(年9回)
- ・ぼっぼ親子ひろば(年1回)
(10/25 子ども23人 大人19人 計42人)
- ・ベビーハウスまつり(年1回)(6/1)
- ・子育てサロン(年9回)
- ・ベビーハウス体験保育(年2回)(6/26、11/18)

地域交流

- ・子育てサロン恵我之荘(年長)(5/12・11/10)
- ・お年寄り会食会(北宮中部公民館)に年長組が参加し交流
- ・西松庵のお年寄りの方との交流
- ・高鷲南中学職業体験学習の受け入れ 2人(2日間)(11/12、13)
- ・高鷲中学職業体験学習の受け入れ 7人(2日間)(11/12、13)
- ・教育実習生の受け入れ 6月2人、7月2人、8月2人、1月3人、2月2人、延11人
- ・四天王寺短期大学保育部「出前保育実習」の受け入れ 41人(12/2)

- ・保育研修生受け入れ（四天王寺大学）1名（11/28～12月末）
- ・ボランティア受け入れ
- ・じゃがいもほり（尼丁さん）（6/11）
- ・さくらんぼ狩り（尼丁さん）（5/7）
- ・いちご狩り（尼丁さん）（5/22）
- ・さつまいもほり（尼丁さん）（10/30）

職員研修

園長・事務員研修

- ・保育新制度セミナー 園長（6/11）
- ・新会計研修会 事務員・園長（11/7）
- ・ほのぼの財務会計研修 事務員（12/16）

保育士研修

- ・新人園内研修 4名
危機管理園(4/8)・入園進級のしおりに基づき(4/16)・薬について(4/18)・一時保育について(4/22)
- ・保育園職員室全体研修 全職員(5/1)
「子ども子育て支援新制度とこども園がもたらすもの」
- ・園内研修 「ディスカッション」 正規職員(5/15・5/21・5/22)
- ・衛生管理研修 2人(6/3)
- ・救急蘇生DVDによる園内研修(全職員)(7/2・7/3)
- ・新人研修 「プール活動 塩素の取り扱いについて」 5名(7/4)
- ・園内研修「子ども子育て支援新制度について」 正規職員・嘱託職員(7/10)
- ・幼児教育大講習会(ひかりのくに) 2名(8/4)
- ・新人園内研修(実技) 3名(11/2)
- ・地域貢献支援員養成研修 1人
「第一期研修」(5/16、6/9、6/17、7/7、7/25、8/4、9/8、10/31、11/7、11/28)
「第二期研修」(12/4・12/16・2/9、2/24、3/4)
- ・マナー園内研修(4/16)
- ・感染症食中毒予防対策講習会 1人(11/18)
- ・保幼小研修 1人(2/23)